

団体名	チーム御前浜・香櫨園浜 里浜づくり		
団体の所在地	西宮市	代表者名	加藤 一郎

1. 事業名	「御前浜・香櫨園浜」を未来に継承する市民組織の初期運営		
2. 実施期間	平成22年4月1日より平成23年3月31日		
3. 主な実施場所	(西宮市) 夙川河口に広がる自然海岸の御前浜・香櫨園浜		
4. 活動形態	・団体立ち上げ		
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会の開催 2月27日 会の運営と活動の取組の為の世話人会議を毎月実施したほか、PC勉強会4回実施。</li> <li>・会員募集を積極的に行った。個人正会員47人、個人賛助会員8人 団体賛助会員5団体</li> <li>・会報を3回発行したほか行事や活動にあたって随時チラシを作成し、広報やボランティア参加を呼びかけた。</li> <li>・毎朝のゴミ回収のほか毎日曜日には除草活動などビーチクリーニングを実施した。延参加者482名(内ボランティア83名)回収ゴミ・雑草 45L袋476、70L袋104、90L袋90 比重と集積度を考慮して25トン</li> <li>・近隣3小学校の3年生児童に対し各学期に環境学習の出前講座を実施した。延生徒数1900名、スタッフ105名</li> <li>・遊びや海辺の生き物調査を通じて環境学習とバーベキューの炭ゴミを回収して作ったペットボトルのダンベルを使った親子の里浜体操を実施した。12回 延参加者393名(内子供169名)</li> <li>・9月26日に「海辺のひろっぱフェスタ」を開催した。 県・市の後援、ひょうご環境創造協会・阪神南泉民局の助成、阪急阪神未来のゆめまち基金・浜脇コミュニティ協会・浜脇中学校・西宮浜中学校・阪神電鉄の協賛を得て、かえっこバザール・砲台ギャラリー・砲台たそがれコンサート・サンセットクルージングを行い大人・子どもあわせ約1500人の来場者があった。 開催にあたっては実行委員会6回、全体会議4回を実施した</li> <li>・御前浜東側入り口に、阪神南泉民局のご協力で総合サインを一基設置した。</li> </ul>		
6. 成果・反響・反省点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページを充実させ適宜更新したほか、活動がマスコミや地域のコミュニティ情報誌にも取り上げられ、社会的認知が進んだ。2年目を経過し団体立ち上げの目的が達成できた。</li> <li>・毎朝のビーチクリーニングや毎日曜日の除草活動をした結果、浜の自然環境が格段に改善され、広く市民の憩いの場にすることが出来た。</li> <li>・出前講座を通じて、多くの児童や父兄に浜の自然環境の重要性と環境維持の重要性の意識向上が芽生えた。</li> <li>・「海辺のひろっぱフェスタ」の各種イベントを通じて来場者にこの自然環境の大切さと、この浜を誇りに思う気持ちを持ってもらえることが出来、次代に継承する必要性を感じてもらえた。</li> <li>・浜の環境が良くなったことで多くの利用者が増えたことは喜ばしいことであるが利用マナーの悪さは依然として存在する。特にバーベキューの炭ゴミの放置は砂浜を黒くし自然に戻らない。これの注意看板を県尼崎港管理事務所の協力で4基設置したがその日のうちに3基破壊された。この件はマスコミに大きく取り上げられた。</li> <li>・チーム活動がマスコミに取り上げられる機会も増え、また行事ごとにチラシで呼びかけた結果、ボランティアの参加者が増えた。またその中から7名の方が会員になられた。</li> <li>・反省点としては会員数が増えてきたが、各種活動に参加するメンバーが固定化しつつある。活動を行う会員と会費で支援してくれる会員と好きな時だけ参加するサポーターに分けて対応する必要が出てきた。</li> <li>・団体賛助会員の勧誘が思ったほど出来なかったのも反省点である。</li> </ul>		
7. 成果物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・念願のチームパンフレットを作成した。印刷部数2000部</li> <li>・ボランティアの参加者が増えたのでチームベストを20着追加作成した。</li> <li>・出前講座に使う探検帳を一部修正し増刷した。</li> </ul>		
8. 活動写真説明	 <p>出前講座                      ビーチクリーニング                      総合サイン設置</p>		